

特別支援学校準ずる（病弱教育）高等部第2年 総合的な探究の時間 「じぶんかくどかわる」制作と関わる中で取り組んだ文化祭に向けた映像制作～「プロのプロセス」から自作動画～

東京都立光明学園病弱教育部門 主任教諭 川口 尚人

【実践報告の概要】

「プロのプロセス」を活用した実践でNHKの企画「じぶんかくどかわる」の取材に協力した。取材したものをドキュメンタリー形式にして1分間で放送するというもので、文化祭で発表するために自主動画作りをする学習活動を選んだ。題材の検討から始めて、文化祭本番の発表まで取材班が5回ほど入った。「プロのプロセス第14回『PR動画の作り方』」を視聴し、同様に映像作りをして発表するという単元にした。在籍生徒は2名で、自分は担任ではないが、担任にも協力してもらって総合の授業を進めた。（8時間扱い）

【キーワード】 #動画作り #絵コンテ #SST

【取組の具体】 準ずる教育課程 総合的な探究の時間 単元名「光明祭の発表映像作品を作ろう」 本時3/8『PR動画の作り方』

ねらい 発表映像の作り方を番組視聴し、映像作りのプロのアドバイスを参考にして映像作りに取り組む。

- 映像作りについて本日のねらいを確認する。
 - P R動画の作り方と気を付けるポイント
- NHK for School「プロのプロセス」第14回『P R動画の作り方』を視聴する。
 - 一斉視聴。同サイトの「あらすじ」、「今回のまとめ」等の資料をダウンロード、コピーして配布。
- ワークシートに沿って各自で考え、話し合う。
 - 伝えたいテーマを1つに決める
 - 演出を決める
 - 絵コンテを描く
 - 早く終わったら台本原稿を考える
- 構成が決まったら役割分担をする。
 - 絵コンテで構成が決まったら2人で相談をして役割分担をする。
- 時間が余ったら自分の分担の台本を考える。
 - パワーポイントのノートに直接書き込ませる。
- 本時の感想を各自でまとめる。（発表はしない）
 - 感想は毎回書いているワークシートに書く。
- 今後の作業の流れを確認する。
 - 次時以降の作業のイメージを共有する。

【活用番組と実践者による番組分析】

企画「じぶん かくど かわる」と活用番組「プロのプロセス」

番組視聴をきっかけに変わっていく子どもたちを「角度」で表現したキャッチコピーが、この「じぶんかくど かわる」です。…中略…教育を取り巻く状況が大きく変わる中、長年子どもたちや教育現場を支えてきたNHK for Schoolの魅力であらためて感じてもらう企画です。（同サイトOUTLINEより）

「プロのプロセス」は、社会で活躍するさまざまなプロから、情報をあつかうテクニックを学ぶ番組です。（同サイト番組紹介より引用）

○この回はPR動画を作る際のアドバイスを提示している。今回の「じぶんかくどかわる」では「プロのプロセス」の制作者が取材に来たので、撮影の意図や番組に込められた思いなどを直接聞くことができ、いつも以上に集中できた。

○この単元は、自立活動で取り組んでいるSST（ソーシャル・スキル・トレーニング）を使って、日常的な生徒の悩みの解決法を自分たちで考えて回答を発表することにした。データ分析をしてパワーポイントでプレゼン資料を作り、それに合わせた台本作り、読みの録音と進めた。番組のサイトよりダウンロードした絵コンテを使って構成を考えた。

【本実践における工夫点】

“あらすじ”や“今回のまとめ”を利用する

・番組サイト内にある“あらすじ”や“今回のまとめ”をダウンロード、プリントアウトして使用することで、後からの振り返りや単元のまとめの時に番組内容を思い出すのに役立つ。

ワークシートの効果的な活用

・普段の授業で使っている形式のワークシートで、導入からまとめまでスムーズに進めることができた。思考の流れや活動の手順をわかりやすく示すことで、授業の流れや考えるポイントが明確になる。

「じぶんかくどかわる」の取材から学ばせる

・内容を知らない人にもわかるように説明することで、単元のねらいや発表の対象、自分たちがやりたかったことなどをすっきり整理ができた。

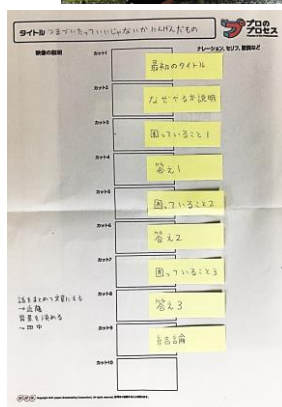
【本実践の成果と課題】

○文化祭で自分たちがやろうと思ったことを発表でき、十分にやり遂げた達成感を得られた。

○初めてやる動画作りも番組視聴で具体的にイメージしてスムーズに取り組むことができた。



担任による単元の授業の様子



自作のワークシート
番組の絵コンテ
← 左右

